2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コミュニケーション実践Ⅱ				
担当教員	今井　健介		実務授業の有無	×	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	1年次に勉強したビジネスマナーを復習し、社会人になる準備を始める。　対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	社会人としてふさわしい立ち居振る舞いを身につける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	内定先への暑中見舞い・年賀状の書き方	プリント
2	社会人になってからのマナー（日常のマナー）	プリント
3	社会人になってからのマナー（身だしなみ、敬語）	プリント
4	社会人になってからのマナー（備品の名称、使い方）	プリント
5	社会人になってからのマナー（メール、ビジネス文書）	プリント
6	社会人になってからのマナー（接待）	プリント
7	社会人になってからのマナー（慶弔業務）	プリント
8	社会人になってからのマナー（退職）	プリント

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	書類作成や個別面談をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。

実務経験教員の経歴	元海獣飼育員

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	就職実務Ⅱ				
担当教員	今井　健介		実務授業の有無	×	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかり理解した上で就職活動を進めていく。　対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	企業研究の方法を知ることができる。 企業訪問や就職試験について知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルプリント				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	就職活動の流れ、必要書類作成について	・就職活動の基準、提出書類の種類、流れを知る ・履歴書の学歴や検定欄の更新
2	求人検索の方法、求人票の見方	・求人検索サイトを知る ・求人票を見ながら項目ごとの意味を知る
3	合同企業ガイダンス・会社訪問の心構え、準備	・合同企業ガイダンスへの参加に向けた準備 ・企業研究をどのように行うか知る
4	面接のマナー、面接の形式	プリント
5	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」	プリント
6	日本語の発声法、緊張は友達、リズミカルに話す	プリント
7	ディスカッションの基礎、筆記試験対策	プリント
8	内定お礼状の書き方	プリント

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	個別面談を行うこともあるので、毎回授業に出席すること。就職関係の提出物などの遅れがないようにすること。

実務経験教員の経歴	元海獣飼育員

2023年度　　国際ペットワールド専門

科目名	PC実習				
担当教員	古俣　秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	
授業概要、目的、授業の進め方	Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身につける				
学習目標（到達目標）	Excel表計算処理技能認定試験　3級　取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Excel2021 クイックマスター 基本編　Excel2021問題集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Excelの基本　Chapter2 データの編集	画面構成、用語の確認 範囲選択　文字の入力、数値の入力
2	Chapter2 データの編集 ●問題集 練習問題1【問題2】(1)～(3)	日付の入力、オートフィル、数式、合計関数 参照、コピー・移動
3	Chapter3 表の編集 ●問題集 練習問題2【問題2】(1)～(3)	セルの書式設定、表示形式
4	Chapter7 関数	基本関数の意味と使い方（平均、最大、最少 順位）
5	Chapter8 データベース機能 ●問題集 練習問題1【問題2】(4)～(6)、【問題3】	並べ替え、フィルター
6	●問題集 練習問題2【問題2】(4)～(6)、【問題3】 Chapter5 グラフと図形の作成　Chapter6 ブックの利用と管理	グラフ作成・編集、ワークシート名の変更、シ
7	Chapter4 ブックの印刷 ●問題集 練習問題1 完成	ページ設定、グラフ作成・編集の基本、スパ
8	●練習問題2～3	解説誘導しながら 答案解答作成
9	●練習問題4～5	各人のペースで解答 巡回してチェック・ポイント解説
10	●練習問題6～7	〃
11	●練習問題8～9	〃
12	●練習問題10、模擬問題2	〃
13	●模擬問題3～4	〃
14	●模擬問題5～6	〃
15	●試験実施プログラム 模擬問題1	前問題振り返り 時間計測して実施、解答ファイル採点
16	検定	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となり 本的な操作の仕方、表計算やデータを利用した簡 をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない かった事は休み時間を利用して練習をしましょう。

実務経験教員の経歴	一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた

|学校　シラバス

前期
32
考
、相対参照・絶対
、データの個数、
ートコピー
ークライン

ます。パソコンの基
単な資料作成の方法
事や上手く出来な

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	プレゼンテーション				
担当教員	今井　健介		実務授業の有無	×	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	基本的に聴衆となり発表者へアンケートによりフィードバックを行う。自分がプレゼン時には準備を周到に行い、配布資料やプレゼン用ファイルを作成・使用する。　対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	人前で自分の伝えたいことを明確に伝える技術を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	iPadmini、オリジナル教材				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	好きな物プレゼン①	個人作業、プレゼンテーション発表
2	好きな物プレゼン②	個人作業、プレゼンテーション発表
3	好きな物プレゼン③	個人作業、プレゼンテーション発表
4	好きな物プレゼン④	個人作業、プレゼンテーション発表
5	好きな物プレゼン⑤	個人作業、プレゼンテーション発表
6	好きな物プレゼン⑥	個人作業、プレゼンテーション発表
7	好きな物プレゼン⑦	個人作業、プレゼンテーション発表
8	好きな物プレゼン⑧	個人作業、プレゼンテーション発表
9	動画作成（iMovie）①	個人作業、プレゼンテーション発表
10	動画作成（iMovie）②	個人作業、プレゼンテーション発表
11	動画作成（iMovie）③	個人作業、プレゼンテーション発表
12	動画作成（iMovie）④	個人作業、プレゼンテーション発表
13	動画作成（iMovie）⑤	個人作業、プレゼンテーション発表
14	動画作成（iMovie）⑥	個人作業、プレゼンテーション発表
15	動画作成（iMovie）⑦	個人作業、プレゼンテーション発表
16	動画作成（iMovie）⑧	個人作業、プレゼンテーション発表

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	元海獣飼育員

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	水槽管理実習Ⅱ				
担当教員	佐藤　真司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	水槽メンテナンスの手順を考え、自主的に水槽管理ができるようになる。 学内外の水槽管理を行う。 授業で実施。　対面				
学習目標（到達目標）	各水槽の問題点を自ら判断し、適切な水槽メンテナンスができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルプリント				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	学内水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
2	「アンドクリエイト」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
3	「新潟市どうぶつふれあいセンター」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
4	「新潟中央自動車学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
5	「笹口小学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
6	学内水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
7	「アンドクリエイト」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
8	「新潟市どうぶつふれあいセンター」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
9	「新潟中央自動車学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
10	「笹口小学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
11	学内水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
12	「アンドクリエイト」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
13	「新潟市どうぶつふれあいセンター」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
14	「新潟中央自動車学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
15	「笹口小学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
16	学内水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
17	「アンドクリエイト」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
18	「新潟市どうぶつふれあいセンター」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
19	「新潟中央自動車学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
20	「笹口小学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
21	学内水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
22	「アンドクリエイト」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
23	「新潟市どうぶつふれあいセンター」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
24	「新潟中央自動車学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
25	「笹口小学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
27	学内水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
28	「アンドクリエイト」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
29	「新潟市どうぶつふれあいセンター」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
30	「新潟中央自動車学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
31	「笹口小学校」水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。
32	学内水槽管理	グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	観賞魚販売店で4年間勤務していた

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ショップスキルⅡ				
担当教員	冨取　拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	アクアリウムショップでの業務で必要な技術や心構えを身につける。挨拶や、生体商品の管理、店舗の管理技術を学ぶ。インターンシップや選考実習などの、就職活動で学んだことを活用する。　対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	接客の挨拶ができる。アクアリウムショップで必要な、生体管理技術を身に付けている。生体や器具の商品知識を持ち、アクアリウムを通じて、お客様とコミュニケーションをとれる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル教材				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	アクアリウムショップの形態	座学
2	メーカー→問屋→ショップの製品、生体の流れ	座学
3	挨拶、接客態度	座学
4	水草販売水槽の管理、植栽	座学
5	水草販売水槽の管理、換水	座学
6	水草販売水槽の管理、有茎草の挿し戻し	座学
7	活着性水草の管理	座学
8	ディスプレイ水槽のプランニング	座学
9	ディスプレイ水槽の制作	座学
10	CO2大型ボンベの扱い方の注意点	座学
11	CO2漏れの検査方法	座学
12	ディスプレイ水槽管理	座学
13	魚のパッキング	座学
14	水草のパッキング	座学
15	期末試験	座学
16	フィードバック	座学

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	元ペットショップ勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	観賞魚各論Ⅱ				
担当教員	冨取　拓夢	実務授業の有無	○		
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	観賞魚として扱われている日本産淡水魚、金魚、錦鯉の種類と特徴を覚える。　対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	一般的に流通している観賞魚を見て種類を答えることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルプリント				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	川魚について①	観賞魚についての講義
2	川魚について②	観賞魚についての講義
3	川魚について③	観賞魚についての講義
4	川魚について④	観賞魚についての講義
5	川魚について⑤	観賞魚についての講義
6	金魚について①	観賞魚についての講義
7	金魚について②	観賞魚についての講義
8	金魚について③	観賞魚についての講義
9	金魚について④	観賞魚についての講義
10	金魚について⑤	観賞魚についての講義
11	錦鯉について①	観賞魚についての講義
12	錦鯉について②	観賞魚についての講義
13	錦鯉について③	観賞魚についての講義
14	錦鯉について④	観賞魚についての講義
15	錦鯉について⑤	観賞魚についての講義
16	期末試験	授業の総まとめ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	元ペットショップ勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	観賞魚飼育・管理士対策				
担当教員	佐藤　真司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	観賞魚飼育・管理士試験ベーシッククラスの合格に向けた対策授業 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	観賞魚の正しい飼育方法、器具の設置、取扱い方を他人に説明できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	観賞魚飼育・管理士ハンドブックⅠ				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	過去問題①	過去問題を解き、解答、解説を行う
2	飼育水の管理について、硬度について、水温について	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
3	濾過について、水替えについて、フィルターについて	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
4	保温器具について、水温上昇対策について、飼料について、底砂について	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
5	病気について、基礎魚類学	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
6	金魚について	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
7	過去問題	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
8	観賞魚飼育・管理士試験	観賞魚飼育・管理士試験ベーシックレベルを受験する

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	元観賞魚販売店勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	水族飼育理論Ⅱ				
担当教員	鈴木　倫明		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	白点病について学び判別と対処方法を身に付ける。 海水魚及び海水無脊椎動物の繁殖方法を身に付ける。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	海水魚の白点病の投薬計算をできるようになる。 海水魚及び海水無脊椎動物の繁殖方法を実践することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルプリント				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	海水魚の病気の原因、発症の条件	座学
2	海水魚の白点病の概要	座学
3	銅イオンの性質。投薬計算に必要な単位。	座学
4	銅イオンの投薬計算演習①	座学
5	銅イオンの投薬計算演習②	座学
5	銅イオンの投薬計算演習②	座学
6	銅イオンの投薬計算演習③	座学
7	中間試験	座学
8	まとめ	座学
9	海水魚の繁殖①	座学
10	海水魚の繁殖②	座学
11	海水魚の繁殖③	座学
12	海水無脊椎動物の繁殖①	座学
13	海水無脊椎動物の繁殖②	座学
14	海水無脊椎動物の繁殖③	座学
15	期末試験	座学
16	まとめ	座学

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	元水族館館長

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	マリンアクアリウム理論Ⅱ				
担当教員	冨取　拓夢		実務授業の有無	×	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	クマノミの繁殖、クラゲの飼育、サンゴの飼育など、マリンアクアリウムにおける応用的な飼育に関する知識を習得する。　対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	これらを飼育するための条件、理論、方法について記述または、説明することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルプリント				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	クマノミの繁殖①	座学
2	クマノミの繁殖②	座学
3	クマノミの繁殖③	座学
4	クマノミの繁殖④	座学
5	クラゲの飼育①	座学
6	クラゲの飼育②	座学
7	クラゲの飼育③	座学
8	クラゲの飼育④	座学
9	クラゲの飼育⑤	座学
10	サンゴの飼育①	座学
11	サンゴの飼育②	座学
12	サンゴの飼育③	座学
13	サンゴの飼育④	座学
14	サンゴの飼育⑤	座学
15	期末試験	座学
16	フィードバック	座学

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	元ペットショップ勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	観賞魚飼育・管理士対策				
担当教員	佐藤　真司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	観賞魚飼育・管理士試験ベーシッククラスの合格に向けた対策授業　対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	観賞魚の正しい飼育方法、器具の設置、取扱い方を他人に説明できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	観賞魚飼育・管理士ハンドブックⅠ				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	過去問題①	過去問題を解き、解答、解説を行う
2	飼育水の管理について、硬度について、水温について	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
3	濾過について、水替えについて	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
4	フィルターについて	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
5	保温器具について、水温上昇対策について	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
6	飼料について	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
7	底砂について	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
8	病気について①	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
9	病気について②	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
10	基礎魚類学①	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
11	基礎魚類学②	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
12	金魚について①	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
13	金魚について②	テキスト読み合わせ、重要箇所の解説
14	過去問題②	過去問題を解き、解答、解説を行う
15	過去問題③	過去問題を解き、解答、解説を行う
16	観賞魚飼育・管理士試験	観賞魚飼育・管理士試験ベーシックレベルを受験する

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	観賞魚販売店で4年間勤務していた

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	観賞魚飼育実習Ⅱ				
担当教員	佐藤　真司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	観賞魚の繁殖、飼育難易度が高い観賞魚の飼育、管理を行う。　対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	水槽管理の基本的な手技を身に付けている。 観賞魚の飼育、繁殖方法を他人に説明できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル教材				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	魚の選定	水槽を使った実習
2	水槽セット	水槽を使った実習
3	水槽管理、水質測定	水槽を使った実習
4	水槽管理、魚導入	水槽を使った実習
5	水槽管理、卵胎生メダカについて講義	水槽を使った実習
6	水槽管理、卵生メダカについて講義	水槽を使った実習
7	水槽管理、小型シクリッドについて講義	水槽を使った実習
8	水槽管理、アナバスについて講義	水槽を使った実習
9	水槽管理、インフゾリアについて講義	水槽を使った実習
10	水槽管理、ブラインシュリンプについて講義	水槽を使った実習
11	水槽管理、レポート作成	水槽を使った実習
12	水槽管理、レポート作成	水槽を使った実習
13	水槽管理、レポート作成	水槽を使った実習
14	水槽管理、レポート作成	水槽を使った実習
15	水槽管理、レポート作成	水槽を使った実習
16	レポート提出	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	元観賞魚販売店勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ネイチャーアクアリウムギャラリー実習Ⅱ				
担当教員	本間　裕介		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	ネイチャーアクアリウムギャラリーで、水槽管理の技術を学ぶ。ネイチャーアクアリウムギャラリーでの作業を通して、プロの管理技術を身に付ける。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	1年次よりも作業のクオリティと、スピードを上げる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル教材				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
2	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
3	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
4	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
5	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
6	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
7	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
8	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
9	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
10	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
11	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
12	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
13	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
14	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
15	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習
16	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの水槽管理	水槽を使った実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	水槽器具メーカー勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ネイチャーアクアリウム実習Ⅱ				
担当教員	柴田　康文		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	ネイチャーアクアリウムコース2年生のために、ネイチャーアクアリウムの制作から管理までを実習する。作品を世界水草レイアウトコンテストへ出品する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	器具の準備から、構図作製、植栽、日常の管理までをできるようにする。完成させた水景を写真で記録する。最終学年の作品として写真を記録し、レポートと共に提出する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	アクアジャーナル、世界水草レイアウトコンテスト作品集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	1年次制作の水槽リセット	水槽を使った実習
2	水草ストック水槽の整理	水槽を使った実習
3	化粧砂の敷き方	水槽を使った実習
4	レイアウトプランの制作	水槽を使った実習
5	底床システム	水槽を使った実習
6	レイアウト素材の配置	水槽を使った実習
7	構図の写真撮影	水槽を使った実習
8	水草の植栽	水槽を使った実習
9	植栽直後の写真撮影	水槽を使った実習
10	水槽管理	水槽を使った実習
11	水槽管理	水槽を使った実習
12	水槽管理	水槽を使った実習
13	水槽管理	水槽を使った実習
14	トリミング	水槽を使った実習
15	水槽管理	水槽を使った実習
16	期末試験週	水槽を使った実習
17	ろ材のメンテナンス	水槽を使った実習
18	CO2大型ボンベの扱い方	水槽を使った実習
19	魚の導入	水槽を使った実習
20	水草配植の意図	水槽を使った実習
21	制作意図のプレゼン方法	水槽を使った実習
22	作業時間を考えた準備	水槽を使った実習
23	トリミング	水槽を使った実習
24	水草の植栽	水槽を使った実習
25	植栽直後の写真撮影	水槽を使った実習
26	水槽管理	水槽を使った実習
27	水槽管理	水槽を使った実習
28	撮影前の最終仕上げ	水槽を使った実習
29	水景写真撮影	水槽を使った実習
30	水景写真撮影	水槽を使った実習
31	水景写真撮影	水槽を使った実習
32	水槽リセット	水槽を使った実習

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	水槽器具メーカー勤務

科目名	遺伝・育種学				
担当教員	小川　龍司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	生物の遺伝についての基礎知識を学ぶ。生物の育種の基本を理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	生物の遺伝の仕組みが理解できる。飼育動物の品種改良について理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル教材				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	DNAの仕組みと働き	座学
2	育種と品種改良	座学
3	倍数性育種	座学
4	DNA分析（個体識別・集団構造・種判別）	座学
5	環境影響評価と遺伝子解析　　生態系保全とDNA	座学
6	生物多様性	座学
7	期末試験	
8	フィードバック	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	アクアリウムメーカー勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	養殖・繁殖学				
担当教員	小川　龍司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	水生生物の繁殖の基礎知識を学ぶ。観賞魚を含む身近な生物の増養殖ついての基礎を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	水生生物の繁殖について理解し、持続的な飼育展示や増養殖に必要な知識を身につけることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	新飼育ハンドブック水族館編1　繁殖・飼料・病気　　熱帯魚繁殖入門				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	繁殖の定義と意義　有性生殖と無性生殖	座学
2	卵生と胎生　雌雄同体現象　卵の授精と胚発生	座学
3	繁殖習性と繁殖戦略　親魚の養成	座学
4	熱帯魚の繁殖	座学
5	錦鯉の養殖	座学
6	日本における水産増養殖	座学
7	期末試験	
8	フィードバック	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	アクアリウムメーカー勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	環境・生態保護論				
担当教員	佐藤正浩、仁木亨		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	自然環境、生態系をテーマに、生態系の仕組み、現状、保護について学ぶ 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	環境、生態系に関する知識を習得し、保護、保全についての施策について学んでいる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	生態と環境				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	環境と生態系に関する概論	座学
2	地球生態系の未来（環境・生態保護の重要性）	座学
3	物質循環と人間活動　炭素の循環	座学
4	物質循環と人間活動　窒素の循環	座学
5	物質循環と人間活動　リンの循環	座学
6	物質循環と人間活動　硫黄の循環	座学
7	物質循環と人間活動　微量汚染物質と野生生物	座学
8	生物多様性の危機　生態系の多様性	座学
9	生物多様性の危機　種の多様性	座学
10	生物多様性の危機　遺伝的多様性	座学
11	地球上の環境	座学
12	緯度による環境の違い	座学
13	大気の循環と降水量	座学
14	生物の地理的分布と気候	座学
15	期末試験	座学
16	フィードバック	座学

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	水槽器具メーカー勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	水草概論Ⅱ				
担当教員	佐藤正浩、仁木亨		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	水草の分類、生態、取り扱いについて総合的に学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	水草の分類、生態、取り扱いについて総合的に身に付けている。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル教材				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	水草に関する概論	座学
2	自然界における水草の重要性　とくに湿地について	座学
3	生態系における水草の役割	座学
4	自然界の水草が直面している問題　帰化水草	座学
5	自然界の水草が直面している問題　環境破壊	座学
6	種の保全の重要性（生物多様性に関連して）	座学
7	水草の適応戦略　異形葉と陸生形	座学
8	水草の適応戦略　栄養繁殖の巧みな戦略	座学
9	水草の適応戦略　他家受粉の仕組みも発達	座学
10	水草の適応戦略　特殊化した受粉様式	座学
11	水草の適応戦略　水辺の環境を大切に	座学
12	水草の世界　進化と保全 1	座学
13	水草の世界　進化と保全 2	座学
14	水草の世界　進化と保全 3	座学
15	資料講読　課題レポート作成	座学
16	期末試験	座学

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	水槽器具メーカー勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	自然造園デザイン概論				
担当教員	佐藤正浩、仁木亨		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	身近な水辺環境（水田、小河川、池）など、ビオトープの維持、活用について学ぶ　対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	身近な水辺環境の活用についての知識を身に付けている。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル教材				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	身近な自然破壊 除草剤、農薬の被害	座学
2	トンボの減少 農林水産業と自然破壊	座学
3	日本とドイツとの河川事業の違い 河畔林の重要性	座学
4	森と海を結ぶ川の生態学 学校ビオトープのメリット	座学
5	学校ビオトープ 追いつめられる野生動物	座学
6	在来種と移入種 誤った自然保護活動	座学
7	生物多様性とは ジーンバンクとは	座学
8	生態系の多様性について 水をめぐる環境	座学
9	水環境の破壊 これからの水環境	座学
10	ビオトープネットワーク ビオトープネットワークの6つの原則	座学
11	ドイツでの自然生態観察公園 河川政策ー川の再自然化	座学
12	持続的農業のための河川管理 近自然河川工法の可能性	座学
13	近自然河川工法の可能性 身近な問題点	座学
14	近自然河川工法の可能性 身近な問題点	座学
15	ビオトープと情操教育	座学
16	期末試験	座学

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	水槽器具メーカー勤務

2021年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	昆虫・爬虫類飼育概論				
担当教員	冨取 拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	昆虫や爬虫類の生体を理解し、飼育方法や管理において気を付けるべきことを学ぶ。　対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	主な昆虫、爬虫類についての特徴、飼育方法を理解することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業全体の説明	座学
2	奇蟲の概要	座学
3	奇蟲の飼育方法	座学
4	大型爬虫類の概要	座学
5	モニター（オオトカゲ）	座学
6	大型ヘビ（カーペットパイソン）	座学
7	トゲオイグアナ	座学
8	爬虫類の繁殖の概要	座学
9	ヒョウモントカゲモドキの繁殖①	座学
10	ヒョウモントカゲモドキの繁殖②	座学
11	ヒョウモントカゲモドキの繁殖③	座学
12	両生類の繁殖の概要	座学
13	アカハライモリの繁殖①	座学
14	アカハライモリの繁殖②	座学
15	昆虫・爬虫類についてまとめ	座学
16	期末試験の実施	座学

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ペットショップスタッフ（観賞魚・爬虫類エリア）として4年間勤務

2023年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	生物分類技能検定対策				
担当教員	今井　健介		実務授業の有無	×	
対象学科	海洋生物・アクアリウム	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	生物分類技能は自然解説や野生生物調査を実践する上で欠かせない基本技能である。本授業では、生物分類学の基礎を学び基本種の見分け方を習得する。それにより自然環境研究センター「生物分類技能検定3級」の合格を目指す。				
学習目標（到達目標）	自然環境研究センター　生物分類技能検定3級　合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	生物分類技能検定3級・4級試験問題集、生物分類技能検定３級・４級解説集。				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	生物分類技能検定について、生物地理学、生物の系統、生物基礎	座学
2	哺乳類の分類	座学
3	哺乳類の分類	座学
4	鳥類の分類	座学
5	鳥類の分類	座学
6	両生類、爬虫類、魚類の分類	座学
7	両生類、爬虫類、魚類の分類	座学
8	昆虫の分類	座学
9	昆虫の分類	座学
10	植物の分類	座学
11	植物の分類	座学
12	その他の生物の分類	座学
13	その他の生物の分類	座学
14	模試とフィードバック	座学
15	模試とフィードバック	座学
16	本試験	座学

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	